

全身麻酔について（青い文字をクリックすると詳細を閲覧できます）

1. 手術の前に絶飲食が必要です

麻酔中に、胃の中の物を吐いてそれが肺に入った場合、窒息や強い肺炎がおきます。それを防ぐために、胃の中を空にする必要がありますので、必ず守って下さい。

*手術前日までに入院される方 → 入院後、病棟看護師から説明があります。

*手術当日に入院される方 → 手術当日の午前0時以降は固形物を食べられません。
[水・お茶・経口補水液（OS-1・スポーツドリンク）](#)などを満腹にならない程度に飲んで構いません。それ以外の飲み物は飲まないで下さい
また、手術予定時刻の4時間前からは、絶飲食です。

2. 全身麻酔について

- ・麻酔薬により、患者さんの意識を一時的に無くし、痛みを感じさせなくするものです。麻酔で目が覚めなくなるということはありません
- ・全身麻酔中は自分の力では呼吸できなくなるので、口から気管にチューブを入れて人工呼吸を行います。患者さんの体型などにより、チューブを入れるのが難しいときがあるので、首を動かしづらい（頸椎症）、口をあけづらい、ぐらついている歯がある方はそのことをお知らせ下さい。麻酔中にやむを得ず損傷した歯の治療などの為に、歯科を受診して頂くことがあります。その場合自己負担を伴う健康保険適応範囲の治療となります。
- ・手術後に目が覚めたらチューブをぬきますが、数日間はのどがイガイガすることがあります。まれに、声のかすれが長く続くことがあり、治療が必要な場合もありますので、症状が続くときにはご相談ください。

※手術内容によって[硬膜外麻酔](#)を併用することもあります



3. 手術後から翌日まで

- ・手術室から病室又は、観察室に帰ってきます。酸素マスク・心電図・酸素を測る器械をつけ、時々血圧を測ります。心電図などは、翌朝8時にはずします。酸素は医師の指示した時間に止めます。
- ・処置が終わったらご家族に面会していただきます。麻酔からの覚め方は様々で、まだ眠っている場合や、はっきり会話が出来る場合もあります。ただ、会話が出来ても覚えていないことがあります。
- ・時間毎に観察を行います。気分が悪い場合や、痛みが増してきた場合などは我慢せず、看護師にお知らせください。又、痛みが強いと予想される手術の場合、点滴から自分で[痛み止めのお薬を追加できるボタン](#)がついてくることがあります。
- ・手術後の安静度については、その都度説明いたします。点滴や管が入っていることがありますので、動くときは十分に気を付けて動いてください。（看護師が付添い、動いていただくこともあります。）
- ・手術の方法などによって、おしっこの管を入れる場合や、おむつで帰室する場合があります。おしっこの管は、手術後の状態に応じて抜きます。
- ・手術の翌日、体を拭いて着替えをした後、元の病室に戻ります。
- ・水分や食事開始については、その都度説明いたします。指示があるまで、飲んだり食べたりしないで下さい。

4. その他について

- ・全身の状態をよくするために手術決定日より、[禁煙](#)・風邪予防をお願いします。手術当日の患者さんの状態によっては、手術が延期になる場合があります。
- ・アレルギーのある方、テープかぶれや消毒薬で赤くなるなど、肌の弱い方はお知らせください。
- ・麻酔、手術に対して不安が大きく、前日眠れそうにないという方は、睡眠剤の処方も出来ますので、お申し出ください
- ・手術室に入室の際は、取り外しのできるもの（入れ歯・カツラ・装飾品など）は全て取り外していただきます
- ・お口に入れるチューブを、テープで固定します。お髭が生えていると、テープが外れやすくなるので、事前に剃っていただきますようお願いいたします。

上記の内容やご自身のことでわからないことがありましたら、
主治医または看護師にお尋ねください

全身麻酔で手術を受けられる患者様へ（硬膜外麻酔なし）

手術当日準備	手術室ホール	手術室へ入室	全身麻酔	手術中	麻酔が覚めるまで	病室へ帰室
<ul style="list-style-type: none"> 手術用の衣服に着替えて頂きます  <ul style="list-style-type: none"> 病棟看護師が点滴を入れに参ります 手術時間の前にお手洗いを済ませておいてください 時間になりましたら病棟看護師と共に一階にある手術室に行きます 歩行、車椅子、ベッドのいずれかで、手術室へ向かいます 	<ul style="list-style-type: none"> 名前を確認しますので、ご自身で名前を言って下さい。ネームバンドも見せて頂きます 手術部位の確認をさせていただきます 義歯や時計、ヘアピンなどの外し忘れが無いか確認します 帽子をかぶります 	<ul style="list-style-type: none"> 手術室ベッドに仰向けに寝て頂きます 血圧計を巻きます 胸に心電図のシールを貼ります 指に酸素モニターのクリップをつけます 	<ul style="list-style-type: none"> 酸素マスクを口にあてます。普段と同じように呼吸して下さい  <ul style="list-style-type: none"> 麻酔のお薬が、点滴のところから入っていきます <p>〈全身麻酔後に行うこと〉 ～ここからは眠っています～</p> <ul style="list-style-type: none"> 身体が手術台から落ちないように手と足を固定します 必要な場合に以下のような管が体に入ります <p>おしっこの管 口から呼吸するための管 鼻から胃の管 首から点滴</p> <ul style="list-style-type: none"> 手術に合わせた姿勢をとります 	<p>～眠っています～</p>  <p>患者様の手術を安全に行うために、医師と看護師がそばにいて、全身の状態を観察します</p> 	<p>～だんだん意識が戻ってきます～ 意識が戻ってきたときは口からチューブが入っている状態です。自分でゆっくりと呼吸して下さい</p> <p>酸素マスクをつけます たんは飲み込まずに出すようにしてください 目が覚めると身体にさまざまな管が入っています。大切なものなので、ひっぱったり抜いたりしないようにしてください</p>  <p>〈病室に帰る準備をします〉 ・移動用のマットを使って手術用ベッドから病室用ベッドに移動します</p>	<ul style="list-style-type: none"> 手術室から病室へ移動します 病室に戻りましたら心電図や血圧計などモニターをつけます
<ul style="list-style-type: none"> ご家族の方は手術室の入口まで一緒に行けます 手術室の入口の左側に「家族控室」がありますので、よろしければご利用ください 			<ul style="list-style-type: none"> 手術の時間が過ぎて心配な時などは、遠慮なさらず病棟看護師にお尋ねください 手術中に手術の方法が変更になる場合などは、必ず担当医、手術室スタッフから説明させていただきます お待ちいただく場所を離れる場合は、必ずお知らせください 		<ul style="list-style-type: none"> 手術が終わりましたら、病棟看護師がお知らせします 患者様が病室に戻られましたら病棟看護師が全身状態の観察をします。しばらくお待ちいただくからの面会となります 	

